

全国一般全国協

2011年8月31日 No.108

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 中岡基明

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334

URL: http://www.nugw.jp

E-mail: nugw@nugw.jp

第21回定期大会を成功させよう！

全国一般労働組合の第21回定期大会が、9月10日～11日に宮城合同労組の支部のある、作並温泉岩松旅館で開かれる。

全国一般労働組合の第21回仙台台定期大会を、代議員・傍聴者の仲間の圧倒的な参加で勝ち取ろう！

情勢が私たちに求めているものを明確にし、未組織の労働者が寄せている期待に応え、強大な全国一般労働組合を建設しよう。

労働組合・農漁民・市民の力で

震災復興を！

3月11日の東日本大震災を契機に、歴史は更なる奮闘と新たな創造を私達に求めている。福島第一原発災害の放射能被害が拡大している中で迎える第21回仙台台定期大会では、被災された東北4県を始めとした仲間



をも持ち出し、大増税による労働者へのシワ寄せと、責任転嫁の圧政を敷く布陣を整えようとしている。国民の7割～8割が原発否定のなかで、原子力村の利権

職場闘争を強め、組織化に

全力を挙げよう！

こうした中で、政治や社会を変革する主体として、労働組合の役割が決定的に重要となっている。しかし、労働者の歴史の転換を求め、それを強力に押し進める力・労働組合の力が無ければ何も進まない。労働組合の組織率わずか18.5%に甘んじてはいけぬ。労働組合こそが社会変革の役割を担う主体であることを自覚し、職場闘争を強め、地域で奮闘し、労働者を組織することに全力を挙げよう！第21回定期大会を成功させよう！

脱原発！国民不在の右往左往する政治混迷に喝！

今、巷では次期民主党政の総裁選びが真っ盛りだが、政策論争もなく党内の都合わせた論理に終始している。貧困率が過去最悪の16%、生活保護受給者が200万

を励まし、復興・創造の絆を固く結ぼう。そして強大な全国一般労働組合を築き上げるとの、記念すべき大会として歴史に刻もう。

すでに被災現地のみなさんの懸命な努力により、復興に向けた胎動が各地で始まっている。しかし、「水産特区構想」に見られる如

く財界主導での復興なのか、それとも労働者・農漁民主導による復興なのかというように、その主導権の如何が、今後の帰趨を決めるうえで決定的に重要となってくる。そして、政治のウソと欺瞞、天下り、原子力村の利権と「やらせ」というように、労働者・農漁民・市民の未来を奪うものに対しては、断固たる闘いが求められている。

人を突破し、戦後混乱期以来の水準になっているほどの労働者の貧困が頭にならない。対米追随と復興利権に群がり、何より脱原発をないがしろにしている。「大連立

第21回 定期全国大会

時：2011年9月10日(土) 14:00から
11日(日) 11:00まで
所：仙台市青葉区 岩松旅館
022-395-2211

さよなら原発5万人集会

時：2011年9月19日(月)
13:00 全国協集合
13:30～ 集会
14:15～ デモ
所：東京都新宿区 明治公園

さようなら原発1000日アクション 全国から「9・19 明治公園5万人集会」へ!!

会場：明治公園（東京都新宿区霞ヶ丘町6）

- JR「千駄ヶ谷」駅より徒歩3分
- 地下鉄大江戸線「国立競技場」駅より徒歩2分

- ◇全国協・明治公園集合 13:00
本集会 13:30～ デモ 14:15～
- ◇三単産・東電本社抗議要請行動
11:30～12:00
(新橋駅前機関車広場 11:15 集合)



7・17 静岡市常盤公園

「廃炉は浜岡から!」 現地静岡行動へ7000人

7月17日、「廃炉は浜岡から反原発全国集会」に、東京・新宿からバスで全労協の仲間45名とともにむかった。車中、タンポポ舎の仲間から、チェルノブイリの

炎天下のなか、静岡市の常盤公園には700名をこえる市民、労働者が集まった。DVDと福島資料を用意していただき学習会をおこなった。

7・6 「放射能を考える労働者の集い」に60人

3・11震災いこう労働現場の放射能汚染問題が深刻化するなか、7月6日、三単産主催の「放射能を考える労働者の集い」が開催され、約60人が参加した。

全港湾・伊藤委員長が「労組が、職場の放射能対策から住民とともに原発と放射能問題を考える運動を」と開会挨拶をした。

震災ボランティアに参加して

東京南部商業界分会・柳瀬 洋

盆明けに、遠野まごころネットのボランティア活動に参加。破壊され流され焼かれた町の風景は、5ヶ月を経た今でも、テレビや新聞で想像したものとはやはり異なり、ことばを失うものでした。

お世話になった共生ユニオンいわての方のなかにも、親しい方を亡くされた方がいらっしやう、現場に近づくとともにまごころのこと。

て集会はおこなわれた。集会では全国協から遠藤副委員長が連帯挨拶。労働組合としての反原発への取り組みの不充分性を振り返りつつ、これから全力で取り組んでいくことを表明した。

また、集会決議では、日本中の原発の廃炉を実現させることを集会参加者全員で確認した。

デモ行進では、中部電力静岡支店前で申し入れ、市内繁華街で反原発のアップピルをおこなった。神奈川から4名で参加した。

(全国一般神奈川／澤口)

また、②全日建書記長から下水処理場の汚泥問題、③全港湾書記長から港湾復興と被爆荷役を避ける問題が、様々報告された。最後に全国協・平賀委員長が「原発震災を広げな! 9・19集会へ」と訴えた。

時に損得を超えた英知を結集して、その被害を最小限に抑える備えをしていくことが大事だろう。

遠野まごころネットの壁新聞「よりそう」のことばのように、できる範囲でよりそっていくことと思う。

「T派遣の組合活動に大きなヒントを

東京東部労組ACTユニオン支部・登川琢人

兵頭淳史さんの話が聞ける事を楽しみにして参加した。中小企業労働者や非正

規労働者の扱い所として登場した個人加盟「ユニオン」運動も既に20年の歴史を持つ。組合員の非定着・組織率の伸び悩みで壁にぶちあたっている。個人でユニオンに加盟しても、闘い続けることができる労働者は少



7・6 東京労組・庄司さん

7/2~3

『職場闘争の強化、少数派から多数派へ』 全国協第2回「活動家養成合宿」に50人

7月2〜3日、東京会員 会館晴海において第2回「活動家養成合宿」を開催した。『職場闘争の強化、少数派から多数派へ』をテーマにして、全国から約50人が参加した。

メイン講演は、兵頭敦史・専修大学経済学部准教授から『労働組合の今日的意義』

「合宿」参加者の声

結論までテーマを変えず継続討論を！

宮城合同労組・齋藤和歌子

合宿に限らず、春闘大会や講習会などを終えて思うことがいつも同じだということに気付きました。それは「報告を受けるだけでよいのだろっか」という疑問。私は懲戒解雇の撤回を求め会社と争うことで必死ではあるけれど、「駆け込み寺」になってくれた宮城合同労働組合をはじめ、組合の存在が労働者にとって必要だということを知り、自分の

と戦略』について提案して頂いた。特別報告では、①宮城合 労の星野委員長から『被災 現地の労働・雇用相談ホッ トライン』、②連帯労組・ やまぐちの原書記長から 『反原発・上関現地の闘い』 DVD上映報告、③嶋田中 執から『吉倉工業労組60年



兵頭敦史氏

間の闘い』があった。最後のグループ討論では、「職場闘争の強化、一人職場の闘い」をめぐり熱いやとりがなされた。

みた発想ではあるけれど、少しでも役に立てるよう今後の活動に参加したいと今回の合宿を通して改めて決心しました。

今回「少数派から多数派へ」というテーマでしたが、様々な問題の中からこうして課題を厳選して取り上げ話し合っても単純に結論がでないものばかりで、途方に暮れる一方、全国の組合員が団結することが必要不可欠だと実感させられました。私も共に悩み、素人染

数だ。兵頭さん自身職場で孤立したら耐えられるかどうかと率直に語られた。弱

まず自分が声をあげる事が...

連帯労組やまぐち・田村 恵

私は、職場でどのように仲間作りをしているかその

点に立ち返る事が必要とされている。私達IT常用派遣労働者の職場は派遣先だ。1年半の組合活動で膨れ上がった違和感の正体がわかつた気がする。雇用形態が何

意見交換や兵頭先生の講義のなかで、職場で多数派になる事は私だけではなく皆が課題としている事がわ

この事から、労働組合とは何か、という問いを立てる事が仲間作りの第一歩であるように思った。また、由倉労組が機関誌を作り続け、非組合員にも配布している事を知り、地道な活動の重

どこも一緒だと肌で感じる

ラジオメーター労組・高橋良平

今回、活動家養成合宿には初参加でしたが、現在自分たちが現在最も頭を抱えている「少数派から多数派へ」「いかにして組合員を

デミックなお話から、2日目のグループ討論まで、色々得るものが多かったと思います。さらに、懇親会で全国の皆さんと交流ができたことは一番の収穫になりました。組織化に関しては、職種や環境が違って、課題は共通している。どこも一緒だと肌で感じる事ができました。

1日目の兵頭教授のアカ

この合宿での経験を組合



に持ち帰り、組織化・組合活性化に向けて今後も日々努力していこうと思います。いつの日か自分たちの組織化について皆さんに報告できるよつに、これからも頑張っていこうと決意した2日間でした。

また、懇親会は、皆がどんな想いで闘っているかを知る機会となった。ある方が「自分が裁判に勝つ事で、他の社員の後押しになれば」と語っていた。「しようがない」「我慢しろ」と言われ、働きにくいこの社会で、私も、自分が声をあげる事が、周囲の人が「我慢しなくていいんだ」と思える事の

最賃 闘争

京都は75円の答申、
審議会で意見陳述

洛南ユニオン

8月19日、京都最賃審議会から昨年の749円から2円引き上げて751円とせよ、という答申が行われた。厚生労働省による生活保護との乖離は1円、目安の提示も1円引き上げだったので、審議会で1円引き上げということになる。使用者側は不況の継続と東日本震災を口実に引き

意見表明が実現し、京都総評とユニオンネットワーク・京都が意見表明をおこなった。

東北の被災地を中心に復興のためにも最低賃金の引き上げが不可避であるが、今年の最低賃金は低く抑えられている。異議申出書提出をはじめとし、昨年の労使合意の「できるだけ早期に全国最低800円以上」を形骸化させないための闘いを強化しよう。

「借金漬け労働」撤廃を求め提訴

東部労組東陽ガス支部

雇用契約と業務委託契約という「二重契約」により、会社が負担すべき経費を労働者へ押しつけ、それが払いきれない場合は会社への「借金」扱いとするという前時代的「借金漬け労働」を撤廃させるため、東部労組東陽ガス支部は、組合員22名が原告となり7月12日、東京地裁に提訴、裁判闘争を開始しました。

「借金漬け労働」撤廃を求めて闘う東部労組東陽ガス支部に今後も激励・ご支援をお願いいたします！



8・7 「過労死をなくそう!龍基金」
第5回中島富雄賞授賞式に128人

「過労死をなくそう!龍基金」は8月7日、第5回中島富雄賞授賞式を東京・葛飾で開催した。大庄が経営する居酒屋で働いていた



「支える会」発足させ、入会を呼びかける!

長男を過労死で亡くした父親の吹上(ささこ)さんと母親の隆子さんを表彰。会社だけではなく大手企業トップの賠償責任を過労死訴訟では初めて認めさせたのが授賞の理由。



この間、四国では、5月26日に、全国一般徳島地区協議会東横イン労組徳島支部が結成された。二組セン仲間との熾烈な組織合

8/25 本社との団体交渉が再開
5/26 徳島支部も本格始動

東横イン労組

東横イン本社との団交が、8月25日に再開された。4月末に第一組合の結成・公然化を後押しするなど、東横イン労組への敵対姿勢を強めている会社側に対し、深夜のフロント安全対策なども含めて、経営姿勢を正していく。

特養エルピス非正規介護職不当解雇撤回裁判
「解雇権濫用法理」認めるも非正規差別の不当判決

ふくしま連帯労組

6月29日、福島地裁郡山支部・清水響裁判長は、「解雇権の濫用法理が類推適用される」としながらも、非正規労働者に対しては雇用主の裁量権を大幅に認容した不当判決を下しました。非正規ゆえに根根さんの契約更新拒絶は「合理的な理由及び社会相当性がある」というのです。

関根たつ子さんは、「多くの介護労働者の献身的忍耐によって介護は支えられています。非正規全体の権利向上のため、この不当判決を覆し、解雇撤回と職場復帰を求めていきます。」と、7月8日仙台高裁に控訴しました。ご支援よろしくお願いたします。